

2022年1月

養成関係

カリキュラム

上級デジタル・アーキビスト

○必要単位 20 単位<必修科目 12 単位+選択科目 8 単位>

| 必修科目 【12 単位】 | |
|--------------|-----|
| 授 業 名 | 単 位 |
| 文化メディア特講 | 4 |
| デジタル・アーカイブ特講 | 4 |
| 文化メディア演習 | 2 |
| デジタル・アーカイブ演習 | 2 |

※各科目該当の変更(振替)の履修可

| 選択科目 【8 単位以上】 (2 分野以上から選択) | | |
|----------------------------|-----------|--------|
| 分 野 | 授 業 名(例) | 単 位(例) |
| 情報管理・流通関係 | 文化情報管理特講 | 4 |
| | 文化情報検索特講 | 2 |
| | 遠隔教育特講など | 2 |
| 文化関係 | 文化学特講 | 2 |
| | 言語学特講 | 2 |
| | 伝統文化特講など | 6 |
| 文化情報関係 | 教材開発特講 | 4 |
| | 教育情報特講 | 4 |
| | 教育メディア特講 | 2 |
| | アーカイブ研究など | 4 |
| ※その他大学院が申請した認定科目 | | |

※情報管理・流通関係分野の科目を取得

デジタル・アーキビスト（2020年10月2日改定）

○必要単位 32単位＜必修科目12単位＋選択分野20単位＞

○選択分野については、選択した分野の資格取得（教員免許、博物館学員、図書館司書、観光関連資格）もしくは、専門単位の取得を条件とする。
（各機関で設定）

| 必修科目 【12単位】 | | |
|-------------|--------------------|----|
| 領域 | 科目 | 単位 |
| 概論 | デジタルアーカイブ概論 | 2 |
| 対象 | デジタルアーカイブ文化・メディア論 | 2 |
| 保存・管理 | デジタルアーカイブ対象選定・権利処理 | 2 |
| | デジタル保存・管理技術 | 2 |
| 運用 | デジタルアーカイブ経営論 | 2 |
| | デジタルアーカイブ政策論 | 2 |

| 選択分野 【20単位】 | |
|----------------|----|
| 分野 | 単位 |
| デジタルアーカイブと教育 | 20 |
| デジタルアーカイブと博物館 | |
| デジタルアーカイブと図書館 | |
| デジタルアーカイブと産業 | |
| デジタルアーカイブと自治体 | |
| デジタルアーカイブ専門職技能 | |

デジタル・アーキビスト (新標準カリキュラム詳細・2020年10月2日改定)

| | 領域 | 科目 | 内容 |
|------|-------|--------------------|--|
| 必須分野 | 概論 | デジタルアーカイブ概論 | デジタルアーカイブとは、対象、保存・管理・活用、法と倫理、多様なデジタルアーカイブ |
| | 対象 | デジタルアーカイブ文化・メディア論 | アーカイブによる知の循環型社会、文化の理解、対象メディア、利用者の求めるメディア |
| | 保存・管理 | デジタルアーカイブ対象選定・権利処理 | 法・倫理、契約書・承諾書作成、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス等 |
| | | デジタル保存・管理技術 | デジタル化、メタデータ付与、長期保存・マイグレーション、リンクドデータ、IIIF、DOI |
| | 運用 | デジタルアーカイブ経営論 | 企画・開発、運用、活用、人材育成、ユニバーサルデザイン、多様な開発事例研究 |
| | | デジタルアーカイブ政策論 | 内外の政策的課題、オープンデータ化、分野横断型統合ポータルへの接続、検索技能向上 |
| 選択分野 | | デジタルアーカイブと教育 | 各大学・認定機関においてデジタルアーカイブを活用する関係科目・資格を認定 |
| | | デジタルアーカイブと博物館 | |
| | | デジタルアーカイブと図書館 | |
| | | デジタルアーカイブと産業 | |
| | | デジタルアーカイブと自治体 | |
| | | デジタルアーカイブ専門職技能 | |

【大学向け科目名例】

| | 領域 | 科目 | 内容 |
|------|----------------|----------------|--|
| 必須分野 | デジタルアーカイブ概論 | 1 概論 | デジタルアーカイブとは、対象、保存・管理・活用、法と倫理、多様なデジタルアーカイブ |
| | | 2 経営論 | 企画・開発、運用、活用、人材育成、ユニバーサルデザイン、多様な開発事例研究 |
| | | 3 政策論 | 内外の政策的課題、オープンデータ化、分野横断型統合ポータルへの接続、検索技能向上 |
| | デジタルアーカイブメディア論 | 1 文化・メディア論 | アーカイブによる知の循環型社会、文化の理解、対象メディア、利用者の求めるメディア |
| | | 2 対象選定・権利処理 | 法・倫理、契約書・承諾書作成、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス等 |
| | | 3 保存・管理技術 | デジタル化、メタデータ付与、長期保存・マイグレーション、リンクドデータ、IIIF、DOI |
| 選択分野 | | デジタルアーカイブと教育 | 各大学・認定機関においてデジタルアーカイブを活用する関係科目・資格を認定 |
| | | デジタルアーカイブと博物館 | |
| | | デジタルアーカイブと図書館 | |
| | | デジタルアーカイブと産業 | |
| | | デジタルアーカイブと自治体 | |
| | | デジタルアーカイブ専門職技能 | |

デジタル・アーキビスト（旧カリキュラム）

当面は旧カリキュラムも認めますが、順次新カリキュラムへ移行してください。

- 必要単位 必修科目 10 単位＋選択科目 2 単位以上＋選択分野
- 選択分野については、選択した分野の資格取得（教員免許、博物館学員、図書館司書、観光関連資格）もしくは、専門単位の取得を条件とする。
（各機関で設定）

| 必修科目 【10 単位】 | |
|----------------|-----|
| 科 目 | 単 位 |
| デジタルアーカイブ文化論 | 2 |
| デジタルアーカイブメディア論 | 2 |
| 計画と資料の収集 | 2 |
| デジタルアーカイブ選定評価 | 2 |
| 保存とメタデータ | 2 |

| 選択科目 【2 単位以上】 | |
|----------------|-----|
| 科 目 | 単 位 |
| デジタルアーカイブ実践 | 2 |
| デジタルアーカイブ活用と評価 | 2 |

| 選択分野 | |
|----------------|--------------------------------|
| 分 野 | 内 容 |
| デジタルアーカイブと教育 | 教育業界におけるデジタルアーカイブの活用 |
| デジタルアーカイブと博物館 | 博物館業界におけるデジタルアーカイブの活用 |
| デジタルアーカイブと図書館 | 図書館業界におけるデジタルアーカイブの活用 |
| デジタルアーカイブ活用と観光 | 観光業界におけるデジタルアーカイブの活用 |
| デジタルアーカイブと提示 | デジタルアーカイブの提示（プレゼンテーション）の専門的技能等 |
| デジタルアーカイブと収集 | デジタルアーカイブの撮影等のデジタル化の専門技能 |

デジタル・アーキビスト (旧カリキュラム詳細・2014年2月資格検討委員会)

| 分野 | 科目 | 内容 | |
|---|----------------------|--|-----|
| 学事 学習前 | デジタルアーカイブ入門 | デジタル・アーキビストとは、デジタルアーカイブとは デジタルアーカイブの歴史 デジタルアーカイブの収集・記録・保存・処理の流れ | |
| デ ジ タ ル ・ ア ー キ ビ ス ト 必 須 分 野 | ① デジタルアーカイブ 文化論 | デジタルアーカイブによる文化の伝承とは (文化の伝統と過去・現在・未来) 長期保存と短期保存の対象となる文化 デジタルアーカイブの理解を深めるための関連分野の事例 | |
| | ② デジタルアーカイブ メディア論 | 情報源としてのメディアの特性(メディア環境) メディアの利用 (収集、保存、管理、発信) 利用者からみたメディア (メディア利用の開放、ハイブリットメディアの活用)、メディアの耐久性 (長期保存) | |
| | ③ 計画と資料の収集 | <ul style="list-style-type: none"> ・ デジタルアーカイブの計画(収集、取材の方法、スケジューリングなど) ・ 資料の収集とデジタル化(現物、印刷、デジタルメディア、通信等のメディア) ・ デジタルメディアの一時保存 (Item Pool) とメタデータの構成 ・ 保存構成(単体保存、集合保存、構成保存) | |
| | ④ デジタルアーカイブ 選定評価 | デジタルアーカイブの対象の選定評価の方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 文化的価値からの選定評価 ・ 知的財産権、プライバシー、倫理、 ・ 慣習、利益、社会的背景等の評価 ・ 短期保存および長期保存のための選定評価 | |
| | ⑤ 保存とメタデータ | デジタルアーカイブとして情報を管理するメタデータ、シソーラス 一時・短期・長期保存 (Item Bank) のメタデータシステムの制作と管理 | |
| 選 択 科 目 (一) | デジタルアーカイブ実践 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 構成 (単体保存、集合保存、構成保存) を考慮したデジタルアーカイブの収集、制作、活用方法を学び実践 ・ 利用を見据え情報の管理である短期保存、および、未来を見据えた情報の管理である長期保存するデジタルアーカイブ開発の実践 | |
| | デジタルアーカイブ活 用と評価 | 印刷メディア、デジタルメディア、通信メディア等、様々なメディアを用いたデジタルアーカイブの活用と社会的評価を学びその実践 提示等、デジタルアーカイブの新しい活用を学びその実践 | |
| 選 択 分 野 (二) | デジタルアーカイブと教育 | 教育業界におけるデジタルアーカイブの活用 | 教育 |
| | デジタルアーカイブと博物館 | 博物館業界におけるデジタルアーカイブの活用 | 博物館 |
| | デジタルアーカイブと図書館 | 図書館業界におけるデジタルアーカイブの活用 | 図書館 |
| | デジタルアーカイブと観光 | 観光業界におけるデジタルアーカイブの活用 | 観光 |
| | デジタルアーカイブと提示 | デジタルアーカイブの提示 (プレゼンテーション) の専門的技能等 | 提示 |
| | デジタルアーカイブと収集 | デジタルアーカイブの撮影等のデジタル化の専門技能 | 収集 |



選択分野については、選択した分野の資格の取得 (教員免許、博物館学芸員、図書館司書、観光関連資格) もしくは、専門単位の取得を条件とする。(各教育機関で設定)

準デジタル・アーキビスト (新標準カリキュラム詳細・2021年5月28日改定)

| 科目 | 内容 |
|-------------|--|
| デジタルアーカイブとは | 分野横断型統合ポータル等多様なデジタルアーカイブを基盤にした知識循環型社会、デジタル・アーキビストの活動、デジタルアーカイブ開発のプロセス |
| 対象の理解 | 文化・科学・産業・地域に広がる対象、対象の理解に基づく利用者の求める多様なメディアのデジタル化 |
| 資料選定・権利処理 | ニーズ把握、権利処理による法・倫理（知的財産権、肖像権、プライバシー保護、慣習等）への対応、ライセンス表示、授業目的公衆送信補償金制度の利用 |
| 資料の記録 | 多様なメディアに対応したデジタル化（撮影・スキャニング・録音・OCR等）の基礎知識、メタデータ付与 |
| 資料の保存・管理 | データベース、データの登録、データの検索、長期保存・マイグレーション、リンクドデータ、IIIF、DOI |

準デジタル・アーキビスト (旧カリキュラム)

当面は旧カリキュラムも認めますが、順次新カリキュラムへ移行してください。

| |
|---------------------------------|
| デジタルアーカイブとは |
| デジタルアーカイブ作成のプロセスとデジタル・アーキビストの活動 |
| 法的理解と情報倫理（著作権、プライバシー等の資料の選定・評価） |
| 資料の記録（撮影の基礎知識等） |
| 資料の保存（データの保存等） |
| 資料の管理（データベース、データの登録、データの検索等） |
| デジタルアーカイブの利用 |

◆ デジタルアーカイブクリエイター

デジタルアーカイブとは

デジタルアーカイブ作成のプロセス

資料の記録（撮影の基礎知識、インタビュー技法等）

資料の登録・保存・管理・流通

ガイドラインの事例（知的財産権、肖像権に関する基本的な知識等）

検定料・養成機関認定料等の定め

1. 検定料および認定料

| 区 分 | 検 定 料 |
|-----------------|------------------|
| 上級デジタル・アーキビスト | 2万円 |
| デジタル・アーキビスト | 1万円 |
| 準デジタル・アーキビスト | 6千円 |
| デジタルアーカイブクリエイター | 5千円（認定料） ※試験無 |

※社会人の方で上級デジタル・アーキビスト審査認定を受験される場合は、別途審査料として3万円が発生します。

2. 養成機関認定料及び更新料

| 区 分 | 認 定 料 | 更 新 料 |
|---------------------------|-------|-------|
| すべての種類のデジタル・アーキビストを養成する場合 | 50万円 | 20万円 |
| 上級を除くデジタル・アーキビストを養成する場合 | 20万円 | 10万円 |
| 上記以外の場合 | 10万円 | 3万円 |

講習会開催について

デジタル・アーキビスト

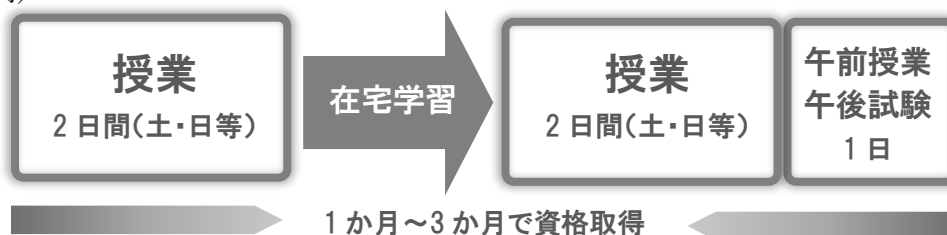
受講対象

- ① 準デジタル・アーキビスト資格取得者で、大学を卒業し、3年以上の社会経験を有する者
- ② 準デジタル・アーキビスト資格取得者で、短大または専門学校を卒業し、5年以上の社会経験を有する者
- ③ その他認定養成機関が認めた者 ※審査有り

受講期間

5日間の講習（授業 4.5日+試験半日）および在宅学習

（例）



受講料

50,000円～100,000円（認定養成機関で設定）

受験料

10,000円

認定試験

授業の最後に実施

試験時間 90分

70点以上合格

2011年4月施行

準デジタル・アーキビスト

標準カリキュラム

| |
|-------------|
| デジタルアーカイブとは |
| 対象の理解 |
| 資料選定・権利処理 |
| 資料の記録 |
| 資料の保存・管理 |

受講対象

高校生以上
社会人

実施時間

2日間（社会人の場合は1日も可）

受講料

認定養成機関で設定

受験料

6,000円

認定試験

授業の最後に実施
試験時間 60分
70点以上合格

デジタルアーカイブクリエイター

標準カリキュラム

デジタルアーカイブとは

デジタルアーカイブ作成のプロセス

資料の記録（撮影の基礎知識、インタビュー技法等）

資料の登録 ・ 保存 ・ 管理 ・ 流通

ガイドラインの事例（知的財産権、肖像権に関する基本的な知識等）

※ガイドラインの事例…当面は、災害記録を例として提示し、従来同様著作権、情報倫理等の講義を行う。具体的なガイドラインを順次整備する。

※インタビュー技法等…当面は、オーラルヒストリーのインタビュー取材等を事例として留意点を提示する。

受講対象

高校生以上

社会人

実施時間

2日間（社会人の場合は1日も可）

受講料

認定養成機関で設定

認定料

5,000円

認定試験

なし

資格試験・認定 <委託業務> —申請・報告手順—

試験や講習会を実施いただく場合は申請と報告が必要です。

下記を参考の上、書類の提出等をお願いいたします。

書類提出先

特定非営利活動法人日本デジタル・アーキビスト資格認定機構 事務局

E-mail jdaa.jimu@gmail.com

住 所 〒500-8813 岐阜県岐阜市明德町 10 番地杉山ビル 4F

岐阜女子大学文化情報研究センター内

TEL : 058-267-5301 / FAX : 058-267-5238

1 申 請

◇ 提出書類

| | 様式 | 上級 | DA | 準 | DAC |
|-----|------|----|----|---|-----|
| 申請書 | 様式 1 | ○ | ○ | ○ | ○ |

※DAC はデジタルアーカイブクリエータ

※提出はデータ、紙いずれでも可

◇ 提出期限

試験実施日より 1 か月前まで

※講習会を開催し試験を実施する場合は 3 か月前まで

※講習会の実施申請をいただきましたら当機構ウェブサイトやメールマガジンでも広報させていただきます。

2 報 告

◇ 提出書類

| | 様式 | 上級 | DA | 準 | DAC |
|------------------|------|----|----|---|-----|
| 報告書 | 様式 2 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 受験者（認定者）リスト | 様式 3 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 試験申込書・認定申請書(全員分) | 様式 4 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 試験問題<1部> | | | ○ | ○ | |
| 単位取得証明書 | 様式 5 | ○ | △ | | |
| 学位論文記入書 | 様式 6 | ○ | | | |

※DAC はデジタルアーカイブクリエイター

※提出はデータ、紙いづれでも可

※△は、学内の学生対象の場合は要提出、社会人対象の場合は不要。

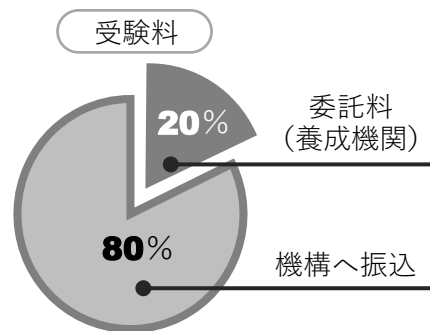
◇ 提出期限

試験日より 2 週間以内

◇ 受験料

受験料の 20% が委託料です。

委託料（20%）を差し引いた金額を
下記口座にお振込ください。



<振込先>

三菱 UFJ 銀行 四谷支店 普通預金 口座番号 1 2 8 1 2 6 0
特定非営利活動法人日本デジタル・アーキビスト資格認定機構

※受験料の請求書が必要な場合は、あらかじめご連絡ください。

※委託料を差し引かず全額振り込む場合は、当機構より委託料を振り込みます。試験実施についての委託料の請求書（様式指定なし）をお送りください。

3 認 定

当機構より認定証または不合格通知の発送を行います。

認定証の発送は報告書類を頂いてから 10 営業日前後かかります。

テキストについて

テキスト

『新版デジタルアーキビスト入門 ―デジタルアーカイブの基礎』

岐阜女子大学デジタルアーカイブ研究所編

出版社：樹村房

2019年4月25日発行

ISBN978-4-88367-323-0

B5判 76頁 本体1,000円+税

※書店または出版社からご購入ください。